

## ○発行にあたって

みなさん、森という言葉から何を想像しますか。森の漢字は、木が3つ集まって構成されています。木々が集まっている森は、動物が隠れ、食物を獲り、子育てをする場所などであることが多いのです。そのような、動植物が関係し合っている森の中では、多様な生態系が生まれているのです。

小平では、神社や寺の周りの森、大きな屋敷の周りの森などが減少している中で、ぞうきばやし雑木林の森は特に減少してきています。そして、現在残っているぞうきばやし雑木林の森も、うっそうとした暗い森であったり、太陽の光が林床りんしょうまでとどかず、森としての質の低下が心配されています。このままですと、小平らしさといった、まちの個性の源泉でもある、みどり資源の一つが無くなってしまうかもしれません。このガイドブックには、ぞうきばやし雑木林の森の調査方法と森のカルテの記載方法が書かれているとともに、新田開発の頃から地域の中で息づいてきた森を再発見していけるように配慮しています。そのような調査を行うことで、武蔵野のふぜい風情を感じられる質の高いぞうきばやし雑木林の森へと再生する継続的な取り組みに活用していこうと考えています。

このガイドブックは、平成22年（2010年）3月に策定された小平市みどりの基本計画2010の重点施策である「市民による森のカルテづくり」を実施するために必要となるものです。そして、市民ボランティアのぞうきばやし雑木林調査隊とともに森の調査を実践しながら、小平市森のカルテ作成準備委員会及び小平市が作成したものです。質の高いぞうきばやし雑木林をめざした森の調査を進めていくためにも、このガイドブックが市民の皆様に活用されることを期待しております。

平成25年（2013年）3月

小 平 市

小平市森のカルテ作成準備委員会